



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所 東
コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
経理財務本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	29,419	6.4	1,278	6.3	468	3.7	468	14.2	170	15.1
2024年3月期第1四半期	27,656	5.2	1,202	13.3	451	29.4	410	4.6	148	62.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 189百万円(16.5%) 2024年3月期第1四半期 162百万円(57.5%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	5	85	—	—
2024年3月期第1四半期	4	92	—	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
2025年3月期第1四半期	67,779	—	15,230	—	22.4	519.25	—	
2024年3月期	68,149	—	15,219	—	22.3	519.06	—	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 15,176百万円 2024年3月期 15,171百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2025年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期 純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	59,500	5.4	3,260	28.5	1,600	△6.6	1,590	△6.1	785	△8.9	26.86
通期	122,000	5.8	7,450	6.5	4,000	4.4	3,950	3.3	2,000	7.5	68.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 2社(社名) (株)メディロジネット、除外 一社(社名) 一
 (有)たけうち薬局
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	30,642,600株	2024年3月期	30,642,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,414,055株	2024年3月期	1,414,055株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	29,228,545株	2024年3月期1Q	30,178,545株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、地域薬局部門において前期に複数の呼吸器感染症が流行した反動があったものの、前期の新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと、LINE公式アカウント「つながる薬局」を用いた処方箋送信機能等のDX活用や服薬期間中のフォロー等の効果もあり、処方箋応需枚数が増加いたしました。また、医薬品ネットワーク部門においては、加盟件数が1万件を突破する等、新規加盟件数は順調に推移いたしました。以上の結果、売上高は29,419百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益468百万円（同3.7%増）、経常利益468百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益170百万円（同15.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及びLINEを活用したかかりつけ薬局化支援を行っております。

地域薬局部門におきましては、前期に複数の呼吸器感染症が流行した反動があったものの、前期の新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと、LINE公式アカウント「つながる薬局」を用いた処方箋送信機能等のDX活用や服薬期間中のフォロー等の効果もあり、処方箋応需枚数が増加いたしました。また、当第1四半期連結累計期間において、モール型店舗4店舗を含む、地域薬局6店舗を新規出店し、M&Aにより地域薬局1店舗を取得する一方、6店舗の閉鎖及び事業譲渡を行いました。2024年6月30日現在の店舗数は、地域薬局451店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア9店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門におきましては、地域単位で医薬品の在庫情報を共有するサービスや各種研修の提供など、サービスの拡充を進めており、新規加盟件数は順調に推移いたしました。2024年6月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ451件、一般加盟店9,727件の合計10,178件（前連結会計年度末比422件増）となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、2024年6月30日現在、49成分113品目を販売しております（出荷調整中の品目数は3成分6品目）。当第1四半期連結累計期間における新規取引店舗数は順調に推移し、2024年6月30日現在の取引店舗数は、前年同期末比1,529店舗増の5,171店舗となりました。

デジタルシフト部門におきましては、令和6年度調剤報酬改定への対応ニーズの高まりから導入店舗数は順調に増加し、2024年6月30日現在の導入店舗数は5,217店舗（前連結会計年度末比535店舗増）となりました。

なお、10月に事業開始予定の物流部門の準備経費を当セグメントに含めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は28,029百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益1,061百万円（同1.5%減）となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、建築業務における受注案件が増加したことやサービス付き高齢者向け住宅ウィステリアにおいて広告宣伝費を見直したこと等により、売上高は942百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益56百万円（同145.5%増）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2024年6月30日現在の入居状況につきましては、「ウィステリア千里中央」は全82戸中48戸（入居率58.5%）、「ウィステリア南1条」は全116戸中88戸（入居率75.9%）、全5棟の入居率は82.3%となりました。入居者ニーズの見直しや新たな営業ルートの開拓に注力し、引き続き、積極的な営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、施設の利用者減少により売上高は前年を下回ったものの、前期に実施した契約単価の見直しによる売上総利益率の改善等から、売上高586百万円（前年同期比0.7%減）、営業損失2百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っております。訪問件数が増加したこと等により、売上高85百万円（前年同期比9.1%増）、営業損失7百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は67,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ370百万円減少しました。

流動資産は20,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ756百万円の減少となりました。主な要因は、商品が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は47,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ386百万円の増加となりました。主な要因は、のれん及び繰延税金資産が減少したものの、建物及び構築物（純額）並びに差入保証金が増加したことによるものであります。

一方、負債の部においては52,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円の減少となりました。流動負債は23,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ704百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は28,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,086百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては15,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,273	6,723
売掛金	4,239	3,977
債権売却未収入金	1,078	1,082
調剤報酬等購入債権	423	418
商品	5,404	6,234
原材料	16	15
仕掛品	38	35
貯蔵品	81	92
その他	1,231	1,452
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	20,773	20,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,996	13,282
土地	9,290	9,296
建設仮勘定	325	314
その他(純額)	5,723	5,856
有形固定資産合計	28,336	28,751
無形固定資産		
のれん	10,613	10,463
ソフトウェア	594	603
その他	73	71
無形固定資産合計	11,281	11,139
投資その他の資産		
投資有価証券	184	191
差入保証金	3,419	3,660
繰延税金資産	3,339	3,160
その他	835	879
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	7,759	7,872
固定資産合計	47,376	47,762
資産合計	68,149	67,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,935	12,304
短期借入金	588	1,421
1年内返済予定の長期借入金	5,122	4,856
未払法人税等	999	114
賞与引当金	1,689	931
役員賞与引当金	86	93
その他	3,791	4,195
流動負債合計	23,213	23,918
固定負債		
長期借入金	18,309	17,189
役員退職慰労引当金	691	697
役員株式給付引当金	278	273
退職給付に係る負債	4,534	4,630
その他	5,902	5,838
固定負債合計	29,716	28,630
負債合計	52,930	52,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	937	946
利益剰余金	13,100	13,094
自己株式	△882	△891
株主資本合計	15,284	15,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	24
繰延ヘッジ損益	2	3
退職給付に係る調整累計額	△134	△127
その他の包括利益累計額合計	△112	△100
非支配株主持分	47	53
純資産合計	15,219	15,230
負債純資産合計	68,149	67,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	27,656	29,419
売上原価	16,223	17,145
売上総利益	11,433	12,274
販売費及び一般管理費	10,981	11,806
営業利益	451	468
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	3
業務受託料	16	16
設備賃貸料	30	32
補助金収入	6	20
雑収入	18	20
営業外収益合計	74	93
営業外費用		
債権売却損	14	20
支払利息	93	65
雑損失	7	8
営業外費用合計	115	93
経常利益	410	468
特別利益		
固定資産売却益	-	0
事業譲渡益	-	31
特別利益合計	-	31
特別損失		
固定資産除却損	0	4
店舗閉鎖損失	1	3
その他	0	2
特別損失合計	2	10
税金等調整前四半期純利益	407	488
法人税、住民税及び事業税	102	107
法人税等調整額	154	204
法人税等合計	256	311
四半期純利益	151	176
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	148	170

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	151	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	4
繰延ヘッジ損益	△1	0
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	11	12
四半期包括利益	162	189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	183
非支配株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,343	644	590	78	27,656	—	27,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	155	0	—	168	△168	—
計	26,356	800	590	78	27,825	△168	27,656
セグメント利益 又は損失(△)	1,077	22	△14	△8	1,077	△626	451

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△626百万円には、セグメント間取引消去62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△688百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,017	731	585	85	29,419	—	29,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	211	0	—	224	△224	—
計	28,029	942	586	85	29,643	△224	29,419
セグメント利益 又は損失(△)	1,061	56	△2	△7	1,107	△639	468

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△639百万円には、セグメント間取引消去51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△690百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	472百万円	523百万円
のれんの償却額	278百万円	286百万円